

「核兵器のない世界」への扉を開こう

原水爆禁止2012年世界大会に長町病院と友の会から代表が参加

今年の原水爆禁止世界大会は、八月三日から六日まで、広島で開催されました。友の会から高橋賢一さん（理事・長町）、長町病院から嶋田幸さん（介護福祉士）、菅野雅樹さん（作業療法士）が参加しました。高橋賢一さんの感想をご紹介します。



全体集会で壇に上がる宮城県代表团

三日目の全日本民医連の交流会は、企画もよく、ラストステージはバンド演奏で盛り上がりました。私もマイクを握って大声で歌って、スカッとなりました。全体会は、世界各国、日本全国から六千八百名の参加。会場は一体感があり、盛り上がりました。中でも、クミコさんのステージでは



みなさまからお寄せいただいた折り鶴は平和記念公園へおさめました。（右から高橋さん、嶋田さん、菅野さん）

（S・S）

長町病院 友の会だより

第191号

発行 長町病院友の会
〒982-0011
仙台市太白区長町 3-6-1
Tel 248-6702
メールアドレス
n.tomonokai@gmail.com



宮城県原水協ののぼりが中央にあつて目立ってたり、若者がバックコーラスで歌ったりと、宮城は“盛り上げ隊”で大奮闘。また、原発事故で故郷を追われた福島の高校生のスピーチでは、故郷を思う気持ちを訴えて涙する場面もありました。暑い広島でしたが、多くのことを学ぶことができました。今後とも、原爆も原発もない平和な世界のために皆様と力を合わせていきたいと思っています。

募金や折り鶴など、たくさんのご支援ありがとうございました。高橋賢一（理事・長町）

聴診器

珍しく庭でクマゼミを見つけた。翅が美しい大型種で、関西に多いが東北地方には棲んでいないと思ひ込んでいた。温暖化のせいで徐々に北上し、七年前から地中に身をひそめていたのだらうか▼そういえば七年前の八月六日、私は広島市の平和記念公園で蟬しぐれに包まれていた。式典では子どもたちのけなげな決意表明の後、時の総理大臣のK氏が登壇、「今後も非核三原則を堅持し」など、白々しい言葉を並べ立てていた。棒読みの口調は、心ここに在らずの印象だった。彼はこの数日後の郵政解散、反対派に刺客を送り大量のKチルドレン誕生の茶番劇を企てることで、頭がいっぱいだったからに違いない▼思えば、これが彼らの終わりの始まりだった。二年後の夏の自民惨敗、さらに三年後の夏の民主惨敗。変化はいつも私たちの目の届かないところでひそかに進行する。あのクマゼミのように。

◆残暑という表現にそぐわない暑い日が続いています。皆様も熱中症など、くれぐれも気を付けて、秋の季節を元気に迎えましょう。

八巻学（太白区西中田）

◆本当に勤労者、年金者、女性、子どもたちのための政治を、次の選挙には実現しなければとつくづく思います。友の会の会員さんと力を合わせ

鈴木仁寿（太白区緑ヶ丘）

◆先日義父が循環器内科を紹介され受診、一日がかりだった。次は予約で受診、三時間かかった。九十二歳の父は、ずいぶんかかるもんだなあと笑って、愚痴もこぼさず待っていた。待っている患者も大



鈴木 祐子（名取市大手町）



森 美恵子（太白区郡山）

◆暑さに負けず、元気で、友の会まつりを皆様とともに楽しみましょう。

浅沼 かつ子

（太白区大野田）

横山 昌子
（太白区東大野田）

り、毎日元気に畑仕事ができるのも、先生はじめ病院の皆様のおかげと感謝しています。これからよろしくお願いいたします。



◆はじめてお便りいたします。母がいつもお世話になってます。定期的に検査を受け

小沢 令（太白区長町）

参加しまして、楽しうございました。中尊寺よりの下り坂も緑陰続きで、身体が緑に染まる感じでした。付添いの方々も同行で心配もなく、鳥の声蛙の声でまるまる自然の中での体験でした。ありがとうございます。

◆孫が名古屋に住んでいます。35度は当たり前前、30度になると涼しいそうです。「友の会だより」は、印刷の字が大きいので、読みやす助かります。ありがとうございます！！

大友 孝子（太白区八木山）

◆「友の会だより」毎号楽しく拝見しております。内容も充実していますね。

興野 秀子（泉区黒松）

◆年々物忘れが増え、記憶力がなくなり、クイズの答えがなかなか出てきません。漢字も忘れて電子辞書を使ったり、辞典を引き出したりしています。頭の体操になると思います。いろいろな新聞のクイズに挑戦してみるのが、できないうで見送ることもしばしば。それでもあきらめずにこれからの挑戦してみようと思っています。友の会のクイズも続けてほしいです。

長澤 ミヤ子（若林区連坊）

◆「友の会だより」百九十号を読み、会員の皆さんが手を取り合って楽しく過ごされているニュースに私たちも参考になりました。しばた協同クリニクも槻木にデイサービスができるなど、新しい出発に動き出しています。お互いがんばりましょう。

千坂 みとり（大河原町）

丹野 のり子

（太白区あすと長町）

編集後記

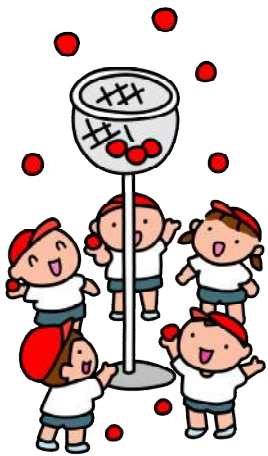
先日、南相馬に行ってきました。「避難指示解除準備区域」は誰もまだ住むことができません。田も畑も雑草で荒れていました。戻れたとしても、いつになったら元の生活を取り戻すことができるのでしょうか。放射線の影響は、これから長い期間続きます。あらためて原発の罪深さを感じさせられました。（H）

①		② E	③	④	
A		⑤ H	B	D	⑥
	⑦ I			⑧	
⑨		⑩	⑪		
⑫	⑬				⑭ F
	⑮	G		C	

解答欄

A	B	C	D	E	F	G	H	I
---	---	---	---	---	---	---	---	---

☆ハガキに、答え、氏名、住所、よろしければひとことお書き添えいただき、表記友の会まで。メールでも受け付けます。通信は紙面に掲載させていただくこともあります。正解者の中から六名様に図書カード進呈。〆切は十月二十日(当日消印有効)



友の会パズル

Ａ～Ｉまでの文字を並べてできる言葉は

【タテのカギ】

①時間の差。○○ボケ

②友の会恒例の行事。○○○○

③喫茶

④4位の次

⑤巻員の貝殻に体を収め生息する生物

⑥十二支の二番目

⑦お尻に針がある昆虫

⑧なまはげが有名な県

⑨○○、不得手

【ヨコのカギ】

①「うさぎうさぎ」に見て跳ねる。○○○○○○お月様見

②お腹の中での胎児の動き

③白と黒の碁石で勝負します

④「借り」の反対

⑤名取にあるショッピングモール。名取○○○

⑥三人寄らば文殊の○○

⑦○○○○○馬肥ゆる秋

▼前回の答え

【ゾウセイハンタイ(増税反対)】

応募総数 十九通

正解者の中から抽選により次の方々に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

◎秋保 隆 (太白区秋保町)

◎浅見 正子 (太白区太白)

◎小沢 令 (太白区長町)

◎興野 秀子 (泉区黒松)

◎千坂 みとり (大河原町大谷)

◎松川 本子 (太白区羽黒台)

病院内の清潔感はもちろんですが、病院の外回りには病院の顔ともいうべきところ。美しくしたいですね。新病院ができた暁には、病院の外回り環境の美化に参加してみませんか。そのう



炎天下の剪定・草むしり作業

委員会では環境美化のとりくみ

長町病院利用委員会は毎月第二火曜日に開催しています。七月十日の定例日は、炎天下、委員メンバー二名と長澤絹代看護部長の三名で、各自持参の鎌や剪定ばさみで、病院周囲の植え込みのさつきの剪定と草とり作業を行いました。汗だくの作業でしたが、すっきりとなった植え込みを見て気分爽快！

※病院利用委員会は、友の会と病院が共同で、長町病院内の巡回(清潔さや古い掲示物がないかなどチェック)や、投書箱を開けて投書の回収などを行っています。(投書の回答は病院内各階に掲示)。

ち、屋上庭園を造るのもいいですね。

岩澤 恵子(太白区向山)

消費税率の引き上げと社会保障切捨ては許せない!



8月13日の抗議集会。訴える長町病院水尻強志院長

友の会の門下生、茂雄社会保険部長は、「けつし、地域から怒りの声を上げ、運動を進めていきたくて、力強く話していました。」

最後に、アピールを参加者全員で確認しました。(下記参照)

友の会の門下生、茂雄社会保険部長は、「けつし、地域から怒りの声を上げ、運動を進めていきたくて、力強く話していました。」

消費税増税法案強行に抗議集会

国民の多くの反対を押し切り、「社会保障と税の一体改革」法案が八月十日、成立させられました。民主・自民・公明の修正協議により、社会保障の「適正化」の名による切り捨ても含まれた、重大な内容です。

十三日、長町病院・長町病院労働組合・長町病院友の会の共催で、三十名を超える参加で抗議集会を開催しました。

集会では長町病院・水尻強志院長、労働組合・白木勝分会長、友の会・熊谷郁夫会長からそれぞれ抗議の発言がありました。

熊谷会長は、「法案は成立しましたが、実施まで少なくとも二回の国政選挙があります。『増税ノー』の声を国会でも多数派にし、引き上げを何としても中止させましょう」と訴えました。

最後に、アピールを参加者全員で確認しました。(下記参照)

アピール「社会保障と税の一体改革関連法案」の成立に抗議し、その中止を求めます

8月10日、「社会保障と税の一体改革」関連法案が参議院本会議で可決成立しました。衆議院で強行採決させた時と同じく、またしても民主・自民・公明の3党の密室談合による暴挙です。各種世論調査で示された「増税反対」の国民の声を踏みにじり、財界・大企業の圧力に屈し今国会での成立を強行したことに對し、私たちは強く抗議するものです。

費用が増えれば消費税率をアップする)」、「受益と負担の均衡がとれた持続可能な社会保障制度にする(個人の負担に見合った給付とする)」、「自助、共助を原則に、家族相互の助け合いを基本とする」など、社会保障の財源を消費税におき、「自助」「共助」を明文化し、本人、家族の責任を基本としています。まさに自己責任で失業、病気、傷害、老後の備えをしるというもので、憲法25条に示された社会保障の理念を根本から否定するものです。

かつて小泉政権下で、毎年2,200億円の社会保障費が削減され、「医療崩壊」ともいえる事態を招きました。今回の社会保障制度改革推進法は、この路線を復活させ公的責任の放棄を法律に定める大変危険な内容です。

今国会では、国民世論を背景にこの法案を廃案まであと一歩のところまで追い込みました。法案は成立しましたが、実施は2014年からであり、その間に衆議院選挙。参議院選挙が必ずあります。消費税増税廃止法案を実現できる、民意の通る国会をつくりましょう。

私たちは、「社会保障と税の一体改革」法の中止に向け、地域のみなさんと手を携えながら、全力で奮闘します。

「消費税増税修正法案」は、当初盛り込まれていた高額所得者の税率引き上げも削られ、文字通り国民に消費税増税のみを押し付ける内容となっています。

消費税は所得の低い人ほど生活が圧迫される弱い者いじめの税制です。これが10%に引き上げられれば、多くの国民の生活が悪化するとともに、増税分を価格に転嫁できない中小企業が廃業の危機に追い込まれます。また、医療や介護でも、ただでさえ経営がきびしい中、消費税増税分はそのまま負担増となり、地域医療が危機に瀕することは目に見えています。

被災地の国民・中小企業・病院は大震災で大きな損害を受けました。その復興のために歯を食いしばっている中で、消費税の引き上げを実施することは、復興への大きな障害となるものです。

民主・自民・公明の修正協議で盛り込まれた「社会保障制度改革推進法案」に至っては、「安定した財源を確保するために消費税を目的税とする(社会保障の

平和で安心して住み続けられるまちづくりを地域とともに

9月30日は健康まついへ

長町病院・友の会第21回健康まつりが目前に迫りました。今年も楽しくて健康に役立つ企画や、各ブロック・民医連の職場などで腕によりをかけた食べ物を用意しています。みなさまのお越しをお待ちしています。



オープニングは恒例の長町中学校ブラスバンド部



今年も沸かせます！ひらお一座

長町病院・友の会

第21回 健康まつり

日時：9月30日(日)

午前10時から午後2時

会場：蛸薬師境内

参加協力券は500円です。配布協力者、各ブロック担当者、長町病院職員、友の会事務局からお買い求めください。



アツと驚く、Dr平野井のマジックショー

腕によりをかけた多彩な模擬店が待ってます



フィナーレはチアリーディングサークル「クラブス」のみなさん

急募！バザー用品

ご家庭で使っていない日用品等ございましたら、友の会室までお寄せください。(できるだけ未使用のものをお願いします)

美味しい料理と

うたごえで交流

名取ブロック

毎年温泉地を巡り歩いてきたブロック交流会が、東日本大震災の昨年、手作り料理による昼食交流会へ衣替えしましたが、今年もそれでいこうというこゝとでとりくみました。七月十一日、名取市大手町にある老人憩いの家を会場に開催しました。案内を「友の会だより」五月号に入れてから大分日数が経過したので参加を心配していましたが、四十名近い参加でにぎやかに開催できました。



冷しやぶサラダ、さばの缶詰にキノコ、ねぎを和え

高校生も

興味持ち参加

若林ブロック

ブロック主催の医療講演会を、「食中毒について」をテーマに七月十九日、若林市民センターで開催し、二十五名の方が参加しました。

はじめに友の会事務局次長の平尾伸二さんより「新長町病院の建設について」スライドでわかりやすく話され、友の会のみなさんといっしょにとりくんでいきたいと訴えられました。続いて、長町病院の板宮歩美管理栄養士に、スライドを使いながら食中毒の基

班から、ブロックから



礎知識や予防について話していただきました。その中では、①日頃から衛生管理を行ない、食中毒を起こさない環境を整えましょう、②基本は「手洗い」と「消毒」です、③食事前の手洗いを心がけましょう、ということが強調されました。

医療講演会で

一人一人が

西部IIブロック

ど、関心が高く時宜にかなったお話で好評でした。平間止(若林区若林)

講師につばさ薬局長町店の松浦邦明店長を迎え、恒例の医療懇談会を開催しました。テーマは「サプリメントの話し」。暑い時節、みなさんの集まりが気になりましたが、大勢の方が集まり、日頃のサプリメントについての関心のほどが感じられました。いろいろわかりやすくめ細かい説明で、求め方まで本当に参考になる話で、サプリメントについての疑問を解くことができました。やはり日常のバランスのとれた食生活習慣が大事ななあと思いました。後半の質問コーナーでも活発な質問が出され、時間が足りないくらいでした。野菜ジュースは野菜の代わりにはならないが、野菜不足を補うには一定の効果



はあるという話は興味をひかれました。いま話題のテーマを選んで大変参考になりました。また、長町病院大山事務長からは新病院構想のお話を聞くことができました。

最後に、「話を聞きに来たわよ」と参加された山田地区のSさんに友の会に入会していただきました。これからも西部IIブロックでは、青空健康相談会や旅行会を企画しています。また、健康まつりでは出店も計画しています。どうぞお気軽にご参加ください。渡辺 静恵(太白区山田北町)

シリーズもひ

このコーナーでは、友の会の様々な分野で活躍している方を紹介します。

その② 平間 止さん(若林ブロック)



ライバルは愛ちゃん!?
(右が平間さん)

平間さんよりひとこと

今年度より友の会理事(若林ブロック担当)に選出されました。長町病院には20年勤務しました。厚生協会退職後、はや3年たちましたが、現在も『介護ネット宮城』に所属し、県内介護事業所への『介護情報の公表や外部評価』の訪問調査活動に参加しています。

また、趣味の卓球や地域活動など、安心して健康で長生きできる世の中を願いつつ、充実した毎日を過ごしています。なにしろ新米理事ですので、よろしくお願いします。

■平間 止さんのご紹介

平間さんは、看護学校時代からいっしょに活動し、苦勞してきた友です。何事に対しても前向きに徹底してとりくむ姿勢と理論性を、友の会活動に生かしてほしいです。

看護師という仕事を通じて身につけた分野で、退職後も仕事を続けており、趣味や活動などで多忙な毎日のようです。今後とも安心して住み続けられる街づくりに尽力してほしいと思います。磯野 サダ(若林ブロック・元職員)

講演する高野さん



原発の恐ろしさ再認識
「平和を語るつどい」開催
原水爆禁止世界大会の壮行会も兼ね、七月二十六日、「平和を語るつどい」が、三十三名の参加で開催されました。

まず、女川町議会議員の高野博さんから、「女川原発は安全だったのでしょうか?」と題して講演していただきました。高野さんからは、大事故と紙一重だった女川原発の状況について、リアルな話がありました。講演後、この間の友の会の平和活動の紹介と、世界大会代表の高橋賢一さんから決意表明がありました。

参加者からは「原発は本当に恐ろしいですね。それが、すぐその女川にあるのです。廃炉にするまで、みんなでしっかりと運動していきましょう」などの感想が寄せられました。

花巻に千八百名の仲間の輪

全国共同組織活動交流集会在開催されました



1800名の熱気あふれる全体会

究家)による「震災に生きる宮沢賢治の世界観」。花巻出身の作家・宮沢賢治が遺した文章が、震災後の今日に生命力を発揮しているという話が印象的でした。



発表する寺島知子さん

二日目は十のテーマに分かれて分散会。長町病院友の会からは「高齢者配食活動を通じた新たな友の会活動の広がり」と題し、寺島知子常任理事より、「ほつと亭」の紹介、および震災直後からの炊き出し活動や、マンションや仮設住宅の訪問・健康相談活動を通じて班ができた活動が紹介されました。

※共同組織とは?

「友の会」「医療生協(宮城では松島医療生協やみやぎ県南医療生協)の組合員組織」などを総称して「共同組織」と呼んでいます。

変更したところもあります。宮城でも友の会のあり方を改めて考えていくことが課題ではないかと感じました。

事務局次長・平尾 伸二

変更にしたところもあります

【黒】の採血管では凝固機能(PT・トロンボ・APTT等)がわかります。血液が固まる状態や血液の塊が溶けていく状態がわかり、抗凝固薬(ワルファリン)のコントロール指標として使われます。

連載

検査のはなし

その②「血液検査」の話し

でも検査します。

血液5種(血球計算)【紫】では白血球(感染症・白血病で増



HbA1c

血糖測定器

連載2回目は主な採血管と長町病院で使用している検査機器ごとにお話したいと思います。



生化学分析機

生化学検査【茶色】は血液を遠心した上清成分(血清)で検査します。主に肝機能(AST・ALT・γGTP・TP・アルブミン・ビリルビン・ALPなど)や腎機能(尿素窒素・クレアチン・ナトリウム・カリウム・クロール・尿酸など)・心機能(LDH・CPK・CRP・CK-MBなど)脂質関連(総コレステロール・中性脂肪・HDLコレステロール)がわかります。

【灰色】の採血管では血糖とHbA1c(糖尿病の有無と経過)がわ

民謡サークルは平成元年(一九八九年)六月発足から二十四年を迎えました。会員さんの唄も板についてきて、稽古日を楽しみに参集されております。民謡は言うまでもなく、生活の中から生まれ、私たちの祖先から歌い継がれてきた伝統文化の一つで、日本人の心の故郷(ふるさと)と言われております。

このような時代になっても、故郷のある民謡は、なお多くの人に愛され歌われております。私はこの伝承文化を大切に次世代に継承していかなければならないと痛感しております。また、民謡は健康にもよいと言われております。

みなさんもひとつ民謡サークルに入会し、腹の底から朗々と歌ってみませんか?

日々の生活の哀歓、きびしい仕事の働くことの苦しさ喜びの歌、そして人々が集まって自然や神への感謝を共にする時の歌などであります。

サークル通信

◆生活に根差した民謡

民謡サークル

練習日は毎月の第一、第四水曜日の午後一時から三時まで。会場は長町一丁目の「パチンコタイガー」隣の「バルながまち」の一階です。

加藤 太郎
理事(長町ブロック)



練習の様子(左端が加藤さん)